

平成25年度

長期研修者研究抄録



鹿児島県総合教育センター

平成25年度 長期研修者一覧

番号	教科等	氏名 (勤務校)	研究主題
1	国語	永田 洋一 (鹿児島市立 春山小学校)	伝え合う力を活用して読む能力を育成する国語科学習指導の在り方 －説明的文章を教材とする単元の指導を通して－
2	社会	中村 勝也 (枕崎市立 立神小学校)	社会的事象の意味を捉えさせる社会科学習指導の在り方 －思考の方法を生かした指導の工夫を通して－
3	国語	長谷部 勇太 (長島町立 田尻小学校)	文学的文章を主体的に読む国語科学習指導の在り方 －小規模校の利点を生かし、言語活動の具体化を図る指導を通して－
4	特別活動	中山 譲二 (霧島市立 大田小学校)	共感的な人間関係を築く学級活動の在り方 －思いや考えをよりよく伝え、認め合う活動の充実を通して－
5	算数	木原 晋 (曾於市立 財部小学校)	考えを広げ、深める児童を育てる算数科学習指導の在り方 －考えを明確な視点で比較検討する活動を通して－
6	特別支援 教育 (算数)	牛垣 尚子 (肝付町立 内之浦小学校)	特別な教育的支援を必要とする児童への学習指導の在り方 －分かる喜びを味わえる授業を目指して－
7	社会	山口 修二 (鹿児島市立 南中学校)	主体的に課題を追究させる社会科学習指導の在り方 －歴史的分野における、「気付き」を生かした指導の工夫を通して－
8	理科	久米田 晃子 (湧水町立 栗野中学校)	生徒が自ら考察する理科学習指導の在り方 －目的意識をもって観察、実験に取り組みさせる工夫を通して－
9	工業	嶽崎 明夫 (鹿児島県立 鹿児島工業高等学校)	アイディア創出の手法を取り入れた学習指導の在り方 －創造的な考え方や態度の育成を目指して－
10	国語	前田 寛明 (鹿児島県立 鹿屋高等学校)	「国語総合」における古典（古文）を主体的に読む能力を育成する 学習指導の在り方 －文語のきまりに関する基礎的・基本的な知識・技能を活用する言語 活動を通して－
11	特別支援 教育 (国語)	吉村 美妃 (鹿児島県立 武岡台養護学校)	知的障害のある生徒の「伝え合う力」を高める指導の在り方 －関わり合う活動に視点を当てた中学部国語科における「聞く・話す」 の指導を通して－

番号	教科等	氏名	勤務校	研究主題	研究内容
1	国語	永田 洋一	鹿児島市立春山小学校	<p>伝え合う力を活用して読む能力を育成する国語科学習指導の在り方</p> <p>－説明的文章を教材とする単元の指導を通して－</p>	<p>本研究は、説明的文章を教材とする「読むこと」の指導において、伝え合う力を活用することによって効果的に読む能力を育成する国語科学習の在り方について研究したものである。</p> <p>具体的にはまず、伝え合う力を活用する際に重要な意識を「五つの言語意識」と仮定した。次に検証授業において、仮定した五つの言語意識を表出させるために「言語表現カード」等の手立てを取った。さらにその効果を検証するために、課題解決の過程における児童の言葉の記録と分析を行った。</p> <p>その結果、「五つの言語意識」をもたせることが、読む能力の育成に効果的であることが明らかになった。また、課題解決の過程において主張の理由、根拠を明確にして伝え合うことで、児童の思考が深められ、読む能力が育成されることが明らかになった。</p>
2	社会	中村 勝也	枕崎市立立神小学校	<p>社会的事象の意味を捉えさせる社会科学習指導の在り方</p> <p>－思考の方法を生かした指導の工夫を通して－</p>	<p>本研究は、思考の方法を生かした社会科学習指導の在り方について研究したものである。</p> <p>具体的には、社会的事象の意味を捉えさせる意義について整理した上で、思考の方法である「比較」、「関連付け」、「総合」の機能を明らかにした。また、学習内容の構造化を図り、思考の方法を生かした学習過程や教師の発問、板書の在り方を工夫し、授業で検証した。</p> <p>その結果、児童は思考の方法のよさを実感し、どのように考えたらよいかを理解することができた。また、社会的事象の意味をよりよく捉えていく児童の姿が見られた。</p>
3	国語	長谷部 勇太	長島町立田尻小学校	<p>文学的文章を主体的に読む国語科学習指導の在り方</p> <p>－小規模校の利点を生かし、言語活動の具体化を図る指導を通して－</p>	<p>本研究は、文学的文章を子どもたちが自分の力で読み、考えを広げ深めるために、小規模校の利点を生かした言語活動の具体化を図り、文学的文章を主体的に読むための国語科学習指導の在り方について研究したものである。</p> <p>具体的には、文学的文章を焦点化された複数の観点に沿って自ら読み進める学習や、少人数・複式学級における指導の工夫、読む目的意識をもたせる言語活動の具体化を図り、それらを位置付けた授業を通して検証を行った。</p> <p>その結果、子どもたちは、文学的文章を自ら読み進め、自分の考えを形成したり、異学年や地域・保護者との交流を通して考えを広げたり、深めたりする子どもの姿が多く見られるようになった。</p>
4	特別活動	中山 讓二	霧島市立大田小学校	<p>共感的な人間関係を築く学級活動の在り方</p> <p>－思いや考えをよりよく伝え、認め合う活動の充実を通して－</p>	<p>本研究は、思いや考えをよりよく伝え、認め合う活動を通して、児童の共感的な人間関係を築くことを目指した学級活動の在り方について研究したものである。</p> <p>具体的には、思いや考えを理解し合うために、相手の立場に立って聞くことや話すことのよさに気付かせる活動を行い、その後の話し合い活動や集会活動において実践化を図ることができるよう、学級活動の活動内容(1)と活動内容(2)を関連付けた一連の活動を構成した。その中で、互いのよさを認め合い、生かすことにより、心理的な結び付きを強め、共感的な人間関係を築いていけるものと考え、検証授業を行った。</p> <p>その結果、相手意識をもって自己の言動の在り方を考えることができ、友達との関係が深まったと感じられる児童が多く見られた。</p>

番号	教科等	氏名	勤務校	研究主題	研究内容
5	算数	木原晋	曾於市立財部小学校	<p>考えを広げ、深める児童を育てる算数科学習指導の在り方</p> <p>－考えを明確な視点で比較検討する活動を通して－</p>	<p>本研究は、高学年における算数科の学習において、練り上げる学習過程で、考えを明確な視点で比較検討する活動を通して、考えを広げ、深める児童を育てるための学習指導の在り方について研究したものである。</p> <p>具体的には、比較検討する活動を充実させるための学習指導の工夫として、考えを広げ、深めるために有効な視点や比較検討の対象を設定した。そして、それらを基に4種類に分類された比較検討の方法を見いだした。さらに、本時のねらいに即した比較検討する活動を位置付けるための教材研究の在り方も明らかにした。</p> <p>その結果、児童が自分なりの考えをもって比較検討する活動に取り組むことができ、解決方法を分析したり、既存の知識を再構築したり、新たな考えの発見をしたりするなど、考えを広げ、深める姿が見られるようになった。</p>
6	特別支援教育(算数)	牛垣尚子	肝付町立内之浦小学校	<p>特別な教育的支援を必要とする児童への学習指導の在り方</p> <p>－分かる喜びを味わえる授業を目指して－</p>	<p>本研究は、特別な教育的支援を必要とする児童が、分かる喜びを味わえる授業を目指し、学習指導の在り方について研究したものである。</p> <p>具体的には、教師の学習指導上の配慮に関する状況調査から、授業づくりにおける課題を明らかにし、一斉授業における、ユニバーサルデザインの考え方を取り入れた学級全体への指導・支援の工夫と、児童の「学び方」に基づいた個に応じた指導・支援の工夫と、児童の「学び方」に基づいた個に応じた適切な指導・支援の工夫について整理し、これらを取り入れた検証授業を実施した。</p> <p>その結果、学ぶ環境が整えられ、特別な教育的支援を必要とする児童にとって分かりやすく、学びやすい授業づくりを行うことができた。そして、児童が主体的に学習に取り組み、分かる喜びを味わう姿を見ることができた。</p>
7	社会	山口修二	鹿児島市立南中学校	<p>主体的に課題を追究させる社会科学習指導の在り方</p> <p>－歴史的分野における、「気付き」を生かした指導の工夫を通して－</p>	<p>本研究は、「気付き」を生かした学習指導を工夫し、中学校社会科(歴史的分野)において、主体的に学習課題を追究させる指導法を明らかにしようとするものである。</p> <p>具体的には、生徒に気付かせる方法と学習活動における「気付き」の種類を明らかにした上で、導入、展開、終末のそれぞれの場面で生徒の「気付き」を生かした学習指導を工夫し、授業で検証した。</p> <p>その結果、学習課題に対する興味・関心が高まったり、学習に対する達成感や課題解決の達成感を味わったりすることにより、授業において、主体的に学習課題を追究する生徒の姿が多く見られるようになった。</p>
8	理科	久米田晃子	湧水町立栗野中学校	<p>生徒が自ら考察する理科学習指導の在り方</p> <p>－目的意識をもって観察、実験に取り組みせる工夫を通して－</p>	<p>本研究は、生徒の科学的な思考力・表現力の育成を図るために、目的意識をもって観察、実験に取り組みせる工夫を通して、生徒が自ら考察する理科学習指導の在り方について研究したものである。</p> <p>具体的には、生徒の問題解決の意識を高め、観察、実験における目的意識をもたせる過程を明らかにした。そして、目的意識をもって観察、実験に取り組みせるために、根拠の明確な予想や仮説をもたせるという視点と、生徒の意識を問題解決の流れに沿ってつなぐという視点から学習指導の工夫を行い、授業を通して検証した。</p> <p>その結果、観察、実験の結果から、自らの考えを導き出し、自分なりの言葉や図で表現できる生徒が増えた。したがって、目的意識をもって観察、実験に取り組みせることは、生徒が自ら考察することに有効であることが明らかになった。</p>

番号	教科等	氏名	勤務校	研究主題	研究内容
9	工業	嶽崎 明夫	鹿児島県立鹿児島工業高等学校	<p>アイデア創出の手法を取り入れた学習指導の在り方</p> <p>—創造的な考え方や態度の育成を目指して—</p>	<p>本研究は、課題に対して、生徒が自ら考え、探究して解決できるような、創造的な考え方や態度の育成を目指し、柔軟な発想力を身に付けられるように、アイデア創出の手法を取り入れた学習指導の在り方を明確にしたものである。</p> <p>具体的には、実習の科目「工業技術基礎」と理論的な学習の科目「ハードウェア技術」の論理回路の単元に、工夫したアイデア創出の手法を取り入れた。そして、創出したアイデアの有効性を確認するために実験や試作を取り入れ、活発なアイデア創出を促す学習活動の検証を行った。</p> <p>このことから、生徒の論理回路への興味・関心が高まり、主体的に学習を進め、柔軟な発想をしようとする態度が身に付いた。また、実習の科目ばかりでなく、教室での授業の科目においても、アイデア創出の手法が有効に働くことが明らかになった。</p>
10	国語	前田 寛明	鹿児島県立鹿屋高等学校	<p>「国語総合」における古典（古文）を主体的に読む能力を育成する学習指導の在り方</p> <p>—文語のきまりに関する基礎的・基本的な知識・技能を活用する言語活動を通して—</p>	<p>本研究は、古典(古文)を主体的に読む能力を育成するために、「課題解決による主体的な読み」「文語のきまりに関する基礎的・基本的な知識・技能の活用」「言語活動の充実」の3項目を研究の柱とし、具現化を図る学習指導の在り方について研究したものである。</p> <p>具体的には、年間指導計画を作成し、習得した文語のきまりに関する基礎的・基本的な知識・技能を讀みの視点に沿って活用し、学習課題の解決を目指す指導ができるようにした。また、読み比べたことについて話し合ったり書いたりする言語活動を展開する単元を構想し、検証授業を行った。</p> <p>その結果、生徒が古典（古文）を読む際に課題を解決しようという意識をもって読むことができるようになった。</p>
11	特別支援教育（国語）	吉村 美妃	鹿児島県立武岡台養護学校	<p>知的障害のある生徒の「伝え合う力」を高める指導の在り方</p> <p>—関わり合う活動に視点を当てた中学部国語科における「聞く・話す」の指導を通して—</p>	<p>本研究は、特別支援学校中学部国語科における、知的障害のある生徒の「伝え合う力」を高める指導の在り方についての研究である。</p> <p>具体的には、まず、国語科の「聞く・話す」「読む」「書く」の指導内容を整理するとともに、具体的指導内容例一覧表を作成した。それらを基に国語科における指導内容の設定及び主体的に活動するための手立てなどに関する実態調査を行った。その結果、「伝え合う力」を高めるためには、授業において、生徒が主体的に活動し生徒同士が関わり合う場面を、教師が意識して設定することが必要であることが分かった。</p> <p>そこで、「伝え合う力」を高めるための授業づくりの視点を設定し、それに基づいて、関わり合う活動を意図的に取り入れた指導内容、指導方法を授業場面で具体化し、生徒同士が自分の思いを相手に伝え合う指導の在り方を検証した。</p> <p>その結果、生徒同士が関わり合うことのできる学習内容や役割の設定、教材・教具の工夫を行うことで、生徒のもてる力を活用しながら伝え合う力を育むことができることが明らかになった。</p>